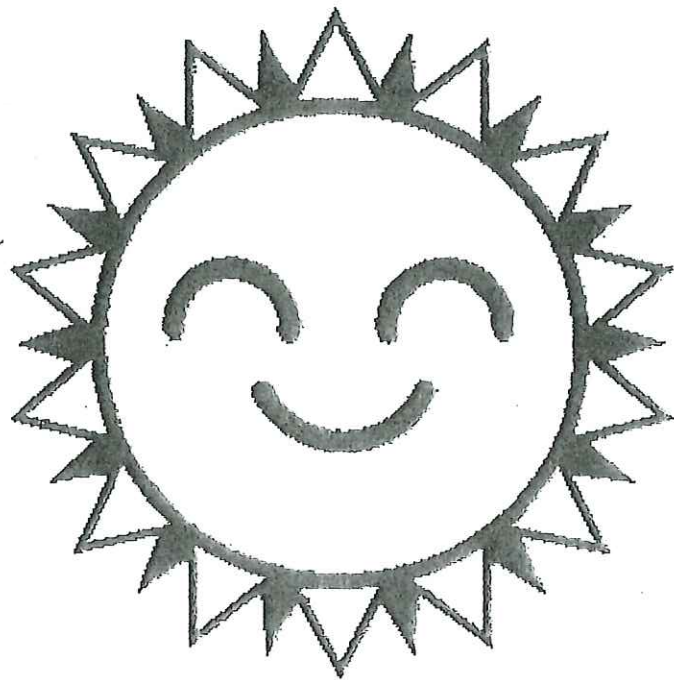


令和4年度 事業実績報告書



社会福祉法人 光輝会
本 部

令和4年度事業実績報告書

1 役員会の開催結果

社会福祉法人 光輝会 (本部)

実施年月日	役員会等の内容	場 所	備 考
令和4年5月 17日	監事監査 令和3年度監査	法人本部事務所	
令和4年5月 23日	理事会 令和3年度事業実績報告及び 決算(案)審議等 定款変更について 光輝保育園塗装工事について	法人本部会議室	
令和4年6月 14日	定時評議員会 令和3年度計算書類及び財産目録 並びに社会福祉充実残額について 定款変更について	法人本部会議室	
令和4年8月 30日	理事会 ※提案事項に係る決議の省略 光輝保育園塗装工事について		書面評決 同意書 確認書
令和5年3月 16日	理事会 令和4年度第一次補正予算(案) 令和5年度事業計画及び当初予算 (案)等の審議 職員給与等支給規程の一部改正 等について他報告事項	法人本部会議室	

2 その他の予定

実施年月日	摘 要	対象施設	備 考
令和4年11月 16日	運営及び会計に関する指導監査	光輝寮 光輝保育園	愛知県福祉局 福祉部福祉総務課 監査指導室
令和5年1月 17日	運営及び会計に関する指導監査	赤羽根学園	

3 その他

各施設の事業実績報告書等参照

令和4年度 事業実績報告

児童養護施設 光輝寮

令和4年度 事業実績報告

1 職員構成

令和4年4月1日現在

職名	人員		備考
	男	女	
施設長	1		再雇用
事務長	1		社会福祉士
里親支援専門相談員	1		再雇用
(直接処遇職員 小計)	(17)		
家庭支援専門相談員	1		社会福祉士
基幹の職員	1		社会福祉士
個別対応職員	1		
児童指導員	8		社会福祉士1名
保育士	6		社会福祉士1名
栄養士	1		
調理員	3		うち再雇用3名
(契約職員<非常勤> 小計)	(9)		
学習指導	3		
特別指導員	4		空手・絵画・陶芸・ギター
嘱託医	2		内科・歯科
合計	34		常勤25名 非常勤9名

【異動等】

<採用 3名>

宇恵楓月(契約職員) R5/1/1採用 [⇒R5/4/1保育士]
坂本愛(契約職員) R5/1/1採用 [⇒R5/4/1心理療法担当職員]
馬場すみれ(契約職員) R5/1/1採用 [⇒R5/4/1調理員等]

<退職 3名>

武仲俊和(児童指導員) R4/6/30退職
江本智也(個別対応職員) R4/6/30退職
岡田桂奈(保育士) R5/3/31退職

<その他 1名>

岡崎且(児童指導員) R4/7/1職種変更 [個別対応職員へ職種変更]

2 入所児童

令和4年4月1日現在

光輝寮【定員42名】

【異動等】

学年	人員			備考
	男	女	計	
(未就学児 小計)	(2)	(0)	(2)	
1・2歳児			0	
3歳児			0	
幼稚園年少	2		2	
年中			0	
年長			0	
(小学生 小計)	(6)	(6)	(12)	
小学生1年		1	1	
2年	1	1	2	うち特別支援学級1名
3年	1	1	2	うち特別支援学級1名
4年		2	2	
5年	1		1	
6年	3	1	4	うち特別支援学級1名
(中学生 小計)	(9)	(2)	(11)	
中学生1年	3	1	4	うち特別支援学級1名
2年	3		3	
3年	3	1	4	うち特別支援学級1名
(高校生 小計)	(6)	(3)	(9)	
高校生1年	1	1	2	
2年	2	1	3	うち特別支援学校2名
3年	2	1	3	うち特別支援学校2名
その他	1		1	
合計	23	11	34	

<入所9名>

幼稚園年長女児 (R4/6/1) [養育困難]
幼稚園年中男児 (R4/6/1) [養育困難]
幼稚園年少男児 (R4/7/1) [養育困難]
2歳男児 (R4/7/1) [養育困難]
小学校3年女児 (R4/8/1) [被虐児]
幼稚園年長男児 (R4/8/1) [被虐児]
小学校3年男児 (R4/10/1) [被虐児]
小学校1年男児 (R4/10/1) [被虐児]
3歳男児 (R5/2/1) [養育困難]

<退所6名>

訓練校1年男児 (R5/6/1) [家庭引取]
小学校3年男児 (R5/3/24) [家庭引取]
小学校1年男児 (R5/3/24) [家庭引取]
高校3年男児 (R5/3/31) [就職、グループホーム利用]
高校3年男児 (R5/3/31) [就職、グループホーム利用]
高校3年女児 (R5/3/31) [就職、職員寮利用]

その他事業	年間利用数
一時保護	17名 (実人数 17名) 延 429人日
ショートステイ	11名 (実人数 10名) 延 30人日
トワイライトステイ	12名 (実人数 1名) 延 13人日
社会的養護 自立支援事業	利用無し

3 主な行事等

	行事等	内容		参加児童
4月				
5月	GWレク 移動駄菓子屋招待 【GW帰省】 2泊3日程度まで。感染症対策の徹底を依頼 牛久保小学校 運動会 豊橋善意フェスティバル招待	グループ外出 光輝寮内 豊橋市総合動植物園	映画 トヨタ自動車田原工場ボランティア様との交流 (伊藤兄妹、河村兄妹、佐藤兄弟)	全児童 全児童 6名(18%) 小学生児童 幼児・小学生児童
6月	東海理化社会貢献活動	光輝寮内	縄跳び台・畑看板作成、ペンキ塗り、昼食寄贈	全児童
7月	プロ野球観戦招待 大相撲名古屋場所観戦招待 ディズニーオンアイス招待	豊橋市民球場 ドルフィンズアリーナ 日本ガイシホール	※球場にて試合開始を待つが、降雨の為、中止。	16名 5名 11名
8月	AICHI高校生交流会Ⅰ部 スポーツボラダリング体験招待 プロ野球観戦招待 シーパレスプール招待※小グループにて実施 お盆レク 【お盆帰省】 2泊3日程度まで。感染症対策の徹底を依頼 県施設長会 卓球大会 本宮の湯招待※小グループにて実施 幼児外出レク AICHI高校生交流会Ⅱ部 ミュージカル招待 Jリーグ観戦招待 プロ野球観戦招待	とこなめ市民交流センター カクタスクライミングパーク2 バンテリンドーム名古屋 シーパレス グループ外出 日進市スポーツセンター 本宮の湯 赤塚山公園、びっくりドンキー 大東旅館(南知多町) 名古屋四季劇場 豊田スタジアム バンテリンドーム名古屋	プール招待 映画 (伊藤兄妹、佐藤兄弟) 団体戦 3位、小学生個人の部 優勝、 中高生男子個人の部 準優勝 入浴招待、おやつ提供 公園外出、昼食	高校生2名 18名 22名 全児童 全児童 4名(10%) 13名 全児童 7名 高校生2名 2名 10名 8名
9月				
10月	豊田高等特支 体育祭 東三河児童福祉施設レク・スポ大会 光明寺幼稚園 運動会 芋掘り招待 南部中学校 体育祭 スターターズセミナー1回目	光輝寮内 豊川市御津町 光輝寮内	トヨタ自動車田原工場EX会様との交流 豊川市青年農業士会様との交流 ZOOMでの開催	1名 全児童 幼稚園児童 22名 中学生児童 高校生3名
11月	県施設長会 ソフトボール大会 七五三御祈祷招待 チャリティーコンサート招待	幸田町とぼねグラウンド 砥鹿神社 安城市民会館	1部優勝 御祈祷を受ける	16名 2名 17名
12月	AICHI高校生交流会Ⅲ部 豊橋善意銀行サンタ訪問 ファミリーミュージカル招待 光明寺幼稚園 お遊戯会 県施設長会 フットサル大会 【年末年始帰省】 2泊3日程度まで。感染症対策の徹底を依頼	常滑市中央公民館 光輝寮内 日本特殊陶業市民会館 武田テバオーシャンアリーナ	お菓子等クリスマスプレゼント寄贈 中高生男子の部 3位 (谷澤姉弟、水谷兄弟、伊藤兄妹、河村兄妹、 佐藤兄弟、梅澤姉弟)	高校生2名 全児童 8名 幼稚園児童 15名 13名(30%)
1月	冬季レク スターターズセミナー2回目	グループ外出 ウインク愛知	ラグナシア、映画、公園	全児童 高校生3名
2月	県施設長会 マラソン大会	サンテパルクたはら		17名
3月	Bリーグ観戦招待 名古屋オーシャンズ出張フットサル教室 東海理化社会貢献活動 伊勢路 食事招待	豊橋市総合体育館 光輝会グラウンド 光輝寮内 伊勢路本店	中庭緑台作成、洗濯場ペンキ塗り、昼食寄贈 昼食招待	3名 15名 全児童 全児童

4 支援・子どもの状況等

	状況・実際の取り組み・成果 等
職員配置等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度より心理療法担当職員を配置できない状況が続いていたが、令和5年4月1日付で新卒者1名を配置できることとなった。 ・令和2年4月～里親支援専門相談員を配置。 ・令和4年度は、業務の中核を担っていた中堅職員2名の退職があり、職員配置や業務分担の大幅な再編が必要となった。 <p>近年の傾向として女性職員の退職に伴う職員の入れ替わりが続いており、令和5年度に向けて新卒者3名が採用内定したが、依然として不足した職員の補充にとどまっている。また、こうした入れ替わりが頻繁に起こってしまうことにより、施設に求められる多機能化、高機能化に対応するための職員の知見の積み重ねがなかなか思うように進まない現状がある。</p>
入所推移	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から、地域小規模児童養護施設「かがやき」を分園型小規模グループケア施設に変更した。それに伴い、光輝寮の定印は42名となった。 ・令和4年度は、当初入所児童数34名でスタートし、年度中に9名の入所、6名の退所があった。 ・令和4年度の9名の入所児童うち、4名が被虐待であった。 <p>※令和4年4月時点の特別支援学校高等部在籍児童数 … 高校生全 9名中4名 特別支援級在籍児童数(中学校) … 中学生全11名中2名 特別支援級在籍児童数(小学校) … 小学生全12名中3名</p> <p>令和4年度も、高齢児の一時保護の打診が多い傾向があった。また、低年齢児の打診についても、発達に課題を抱えている等難しいケースが多く、様々なケースを積極的に受け入れていくための力量が問われていると感じる。それに応えられる施設であるよう、取り組みを進めていく必要がある。</p>
社会的養育のあり方プロジェクト会議	<p>前年度より引き続き、今後の光輝寮のあり方に関する検討を本プロジェクトチームで行った。令和4年度は、会議を4回、及び金城学院大学 加藤准教授の研究室(建築学)と協働して、職員に対するアンケート調査を実施した。 ※詳細は別紙報告書を参照</p>
児童支援	<p>光輝寮の大舎制の特徴を活かし、光輝寮としてのまとまりを感じながら、1人ひとりに合った個別的な支援を展開できるようにしていく。難しい課題を抱えている児童も多く、個々に求められるニーズにいかに対応していくか、職員の創意工夫が必要と感じる。</p>
新型コロナウイルス対策	<p>令和4年度も前年度に引き続き感染予防に努めつつ施設運営を行った。具体的には、ワクチンの接種、寮内でのマスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、換気の徹底等。また、マスクを外す食事や入浴の場面については、居室単位にグループ分けを行い、黙食、黙浴の徹底を図った。散発的な感染の他、令和4年12月には、幼児、小学生を中心とした感染の連鎖が発生したが、その都度隔離療養の対応を行った。</p>
寮内クラブ活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・寮職員による寮内クラブ活動として、ソフトボール部、卓球部、フットサル部、なわとびクラブ、スマイルクラブ(レクリエーション)の活動を実施。県施設長会主催の大会において、ソフトボール部は優勝、卓球部は個人戦で小学生の部優勝及び中高生男子の部準優勝、フットサル部は中高生男子の部3位入賞等の成果を上げた。 ・特別指導員を配置し、以下の活動を実施。 キター教室:金曜日(20:00~21:00) 陶芸教室:土曜日(9:30~11:30) 空手指導:土曜日(14:00~16:00) 絵画教室:日曜日(10:00~12:00) ・その他、週末等学校が休みの日に、学習指導員(元高校教諭等3名)による自主学習支援を実施。中高生のうち希望者がこの支援を利用し、自主学習に取り組んだ。
進学	<p>【高等学校等進学】 ・県立豊橋東高等学校 1名 ・県立豊川工科高等学校 1名 ※推薦入学 ・私立藤ノ花女子高等学校 1名 ※推薦入学 ・県立豊川特別支援学校本宮校舎 1名</p> <p>【大学等進学】 ・今年度該当者無し</p>
就職	<ul style="list-style-type: none"> ・私立豊川高等学校 卒業 ⇒ 株式会社ナンブ 就職 事業内容:高齢者介護事業 ・県立豊田高等特別支援学校 卒業 ⇒ 豊田鉄工株式会社 就職 事業内容:自動車部品製造 ・県立豊川特別支援学校本宮校舎 卒業 ⇒ 株式会社東海理化 就職 事業内容:自動車部品製造

令和4年度 社会的養護のあり方プロジェクトチーム活動報告

1、プロジェクトチーム構成員

小野基晶 光輝会事務長（プロジェクトリーダー）
野口貴章 光輝寮児童指導員
倉地 明 光輝寮児童指導員
岡崎 旦 光輝寮児童指導員（令和4年7月1日より個別対応職員）

2、活動内容（会議4回、及びアンケート、視察、ヒアリング等の調査活動）

○第15回（令和4年度第1回）プロジェクト会議開催

日時：6月1日（水）10：30～12：00

出席者 光輝寮：小野基晶、野口貴章、倉地 明、岡崎 旦

金城学院大学：加藤悠介准教授、研究室所属学生2名（田口さん、高橋さん）

- ・金城学院大学 加藤准教授（建築学科：一級建築士）が、同准教授の研究室所属の学生2名とともに会議に出席。今後、研究室として同准教授と学生が本プロジェクトに参画することとなる。

*具体的には、同准教授及び研究室学生の研究活動の一環として、光輝寮建て替えの建築案を提示してもらうこととなる。

※金城学院大学 加藤准教授及び学生2名（田口さん、高橋さん）による寮視察

<7月4日（月）17：00～20：00>

- ・建て替え建築案作成にあたっての情報収集のために来寮。寮内での児童の生活の流れについて小野から説明した後、実際に児童が生活している様子、生活の流れを確認してもらう。（帰寮→夕食→入浴までの流れ、及び平日の自由時間の過ごし方）

○第16回（令和4年度第2回）プロジェクト会議開催

日時：9月9日（月）13：00～14：30

出席者 プロジェクトチーム構成員：小野基晶、野口貴章、倉地 明、岡崎 旦

オブザーバー参加：和田伸 光輝寮保育士

- ・金城学院大学 加藤准教授より、7月4日見学時のフィールドノートの提供があり、そのノートを活用して意見交換を行う。

*施設の構造、機能、必要な設備等に関する意見交換を行う。

プライバシーも確保しつつ、（ユニット形式にするとしても）見通せて、声か聞こえ、見守りのできる開かれた雰囲気大切にしていきたいとの意見等が挙がる。

※金城学院大学 加藤准教授及び学生2名（田口さん、高橋さん）による建築状況確認

<9月29日（木）14：00～17：00 対応：小野>

- ・建て替え案作成のための基礎調査。
- ・建築図面と照らし合わせながら、建物の構造・設備に関する確認。
- ・各部屋やスペースの現在の実際の使われ方について確認及び説明。

※アンケートの実施に関する金城学院大学 加藤准教授との打ち合わせ

<10月11日～10月19日 対応：小野>

- ・現在の建物・設備に関する各職員・担当者レベルでの使用状況や、それぞれの職員が感じている使用感についてアンケートを実施することとする。
- また、そのアンケートの内容や質問項目についても加藤准教授とすり合わせを行う。

※建物・設備の使用感に関する記述式アンケート実施。<10月26日～11月10日>

- ・回答については、小野が取りまとめて加藤准教授に提出。

※施設・設備の使用感に関する追加調査の実施。<11月29日～12月13日>

- ・上記記述式アンケートの回答内容について、電話による追加調査を実施。

○第17回（令和4年度第3回）プロジェクト会議開催

日時：1月27日（火）13：30～14：50

出席者 プロジェクトチーム構成員：小野基晶、野口貴章、倉地 明、岡崎 旦

オブザーバー参加：新井裕己 光輝寮児童指導員

- ・金城学院大学 加藤准教授が実施した記述式アンケートの結果を活用しつつ、施設の構造、機能、必要な設備、人員配置等に関する意見交換を行う。
- * 建物の構造や設備に関する意見の他、木のぬくもりを大切にしたい、子ども達の遊ぶ場所をきちんと考えた建物にしたい等の意見が挙がる。
- * また、ユニット形式とするとしても、職員をユニットに固定配置しない方が良いのではないかとの意見も出る。

○第18回（令和4年度第4回）プロジェクト会議開催

日時：3月14日（火）13：00～14：45

出席者 光輝寮：小野基晶、野口貴章、倉地 明、岡崎 旦

金城学院大学 加藤准教授 及び学生3名（村田さん、川辺さん、八木さん）

- ・金城学院大学より、建築案の第一案の図面の提供及びプレゼン（2案）がある。その図面及びプレゼン内容を基に新しい施設に関する意見交換を行う。
- * スキップフロアを活用した建物、中庭を囲む形の建物、空中廊下でつながる建物等構造面での様々なアイデアの提案が挙がる。

これまでに挙がっている主な意見のまとめ

- ・職員皆で見守る、施設全体で一体感のある支援を展開できる建物としたい。
- ・開放的で、職員が目が行き届くような構造としたい。
- ・児童が安心して暮らせる場所としたい。
- ・施設を、①本部・地域支援及び初期対応（一時保護等の短期利用を含む）棟、②生活棟、③自立支援サテライト棟（すべて仮称）の3つの機能を流れとしてリンクさせる形で運用する。
- ・生活棟はユニット形式としつつも、施設全体がつながりのある形、造りとしたい。

令和4年度 事業実績報告

児童養護施設 赤羽根学園

令和4年度 事業実績報告

児童養護施設 赤羽根学園

1 職員構成

令和4年4月1日現在

職名	人員	備考
施設長	1	
事務員	1	
(直接処遇職員 小計)	(12)	
家庭支援専門相談員	1	
基幹的職員	1	
個別対応職員	1	
児童指導員	4	
保育士	5	
心理療法担当職員		
栄養士	1	
調理員	3	
(契約職員 小計)	(4)	
常勤的職員	2	保育士、調理補助等
非常勤職員	2	児童指導員、保育士
嘱託医	1	内科
合計	23	正規18名 契約等5名

【異動等】

<採用・退職>

採用者・退職者・・・ なし

2 入所児童

令和4年4月1日現在

【定員41名】

学年	人員			備考
	男	女	計	
(未就学児 小計)	(1)	(3)	(4)	
1・2歳児				
3歳児		1		
幼稚園年少				
年中	1	1		
年長		1		
(小学生 小計)	(6)	(11)	(17)	
小学生1年	1	1	2	
2年	2	2	4	
3年	1	3	4	
4年	1	2	3	
5年		1	1	
6年	1	2	3	
(中学生 小計)	(8)	(3)	(11)	
中学生1年	3		3	
2年	3	1	4	
3年	2	2	4	
(高校生 小計)	(0)	(3)	(3)	
高校生1年		2	2	
2年		1	1	
3年				
4年				
その他				
合計	15	20	35	

【異動等】

<入所 4名>

年長女児 (R4/11/1 ネグレクト)
 年長女児 (R4/12/1 身体的・性的虐待)
 小学2年女児 (" ")

<退所 4名>

小学1年女児 (R4/8/25 母親宅引き取り)
 小学4年女児 (" ")

<措置停止>

中学1年男児 (R4/4/22～5/10) (R4/9/6～9/12)
 小学6年女児 (R4/8/22～8/26) ゆたか学園体験
 小学4年男児 (R4/12/2～R5/4/5)

<措置変更>

中学2年女児 (R4/4/5 昭光愛育園)
 年中男児 (R4/9/8 里親)
 中学1年男児 (R4/9/13 愛知学園)
 小学6年女児 (R5/3/27 小原学園)

<その他>

令和5年4月1日現在 措置児童34名 (措置停止1名含む)
 一時保護0名

その他事業	年間利用数
一時保護	12名 延438人日
ショートステイ	2名 延6人日

3 主な行事等

	行事等	内容		参加児童
4月	お花見	赤羽根学園敷地内	お寿司・サンドイッチ・フランクフルト・唐揚げ・クマゼン・ラーメン他	全児童
5月	春のグループ活動(市内日帰り)	グループ外出	釣り・ピクニック・料理教室・ケーキ教室・潮干狩り・映画・登山	全児童
	いちご狩り招待	いちごガーデン田原		15名
	あかいしこども園 春の遠足・保育参観			
6月	小学校 運動会	赤羽根小学校		
	渥美農業高校 遠足	リトルワールド		
	成章高校 体育大会 赤羽根中学校 総合体育大会	成章高校		
7月	赤羽根小学校 ボディーボード体験			
	ディズニー・オン・アイス招待	日本ガイシホール		3名
8月	キャンプ	つぐ高原グリーンパーク		30名
	バンテリンドーム招待	バンテリンドーム	野球観戦	2名
	無帰省児旅行	グループ外出	映画鑑賞・ショッピング	帰省のない児童 23名
	卓球大会	日進スポーツセンター	団体戦:2位、個人戦中高生女子の部:優勝、3位	12名
	ユリカ基金観劇招待	名古屋四季劇場	劇団四季「CATS」を観劇	3名
9月	赤羽根小学校5年生 野外活動		1泊2日	
	赤羽根中学校3年 修学旅行		2泊3日	
10月	芋掘り(田原市営農支援センター)	営農支援センター管理の畑	芋掘り作業	17名
	赤羽根小学校6年生 修学旅行		1泊2日	
	あかいしこども園 運動会・秋の遠足			
11月	赤羽根中学校 合唱祭			
	渥美農業高校 農高祭			
	愛知県児童福祉施設ソフトボール大会	幸田町とぼねグラウンド	3位	13名
	渥美農業高校2年 修学旅行		2泊3日	
	赤羽根小学校 ダンス&ミュージック			
	バスピクニック招待	浜松フラワーパーク	フラワーパーク、動物園を散策	17名
12月	音楽の集い「一宮大会」	赤羽根学園敷地内	「ミュージックビデオ」DVD作成	33名
	赤羽根小学校 校内持久走大会	赤羽根小学校及び外周		
	赤羽根中学校 長距離走駅伝大会	赤羽根中学校及び外周		
	田原ローターアクト	赤羽根学園	石鹸づくり他	22名
	干し芋作り(田原市営農支援センター)	赤羽根学園	干し芋を作る	12名
	更生保護女性会・保護司会	赤羽根学園	クリスマスプレゼントの受け渡し	全児童
	クリスマス会	赤羽根学園	グループでの出し物、プレゼント発表他	全児童
	ラグーナ花火招待	ラグーナ蒲郡	ラグーナ蒲郡で打ち上げ花火を観賞	11名
	餅つき	赤羽根学園	鏡餅、伸餅、大福	25名
1月	無帰省児旅行(日帰り)	グループ外出	映画鑑賞・ショッピング	帰省のない児童 21名
	赤羽根小学校 なわとび大会			
2月	豆まき	赤羽根学園		全児童
	県マラソン大会	サンテパークたはら	主に小学生が参加	18名
3月	コンサート招待	豊橋アイプラザ	クレイジーケンバンドのコンサートを鑑賞	2名
	民生委員慰問		グランドゴルフ他	全児童
	伊勢路招待	伊勢路三ノ輪店	お好み焼き・焼きそばをごちそうになる	27名

※ 各学校の行事も感染症対策をしながら行われるようになってきた()

※ 職員の研修(新任研修、各部門(子ども支援・食育・マネジメント)研修等)が対面でも行われるようになった

4 支援・子どもの状況等

		実 際 の 取 り 組 み
全 体	漢字検定・公文	27名(小学生～高校生) 年4回試験 12名が合格し進級(1名は100点で合格)
	公 文	27名(小学生～高校生) 小学生:毎日、中高校生:週6日学習 成果:学年以上のレベルをやっている子が多くなり、1年間で2学年相当進む子が5名いた。
	愛知県児童福祉施設長会主催 ソフトボール大会	小学生～高校生 男子、ソフトボール部女子 練習:3月～11月 13:30～17:30 (夏休みは雨天日以外毎日) (成果) 3位
	愛知県児童福祉施設長会主催 卓球大会	小学生～高校生 女子 練習:3月～8月 14:00～17:30 (夏休みは毎日練習) 大会に出場する男子(ソフトボールの練習が休みの日) (成果) 団体戦 : 2位 個人戦 : 中高生女子の部 優勝、3位
	愛知県児童福祉施設長会主催 音楽の集い	新型コロナウイルス感染症対策のため、各施設DVDを作成 「ミュージックビデオ」 小中学生:演技、中高生女子:音楽 8月～11月 練習・撮影・編集 (衣装・小道具:職員)
個 別	少年野球クラブ	赤羽根スポ少軟式野球部 : 小学6年生(男子) 1名 毎週土日 8:30～17:00
	野球クラブ(中学校)	赤羽根中学校野球クラブ : 中学1～3年 4名(男子4名) 毎週日曜日 9:00～12:00
	バレーボールクラブ (中学生)	赤羽根中学校バレーボールクラブ : 中学1～2年(男子) 2名 毎週金曜日 20:00～22:00
	訪 問 塾	学伸塾 : 中学1年男子 1名 毎週月曜日 19:00～21:00
子 ど も の 状 況	進 学	【 進 学 】 4名 ・渥美農業高等学校 (施設園芸科) 2名 (生活科学科) 1名 ・成章高等学校 (生活文化科) 1名
	就 職	対象児童なし
	そ の 他	・支援クラス : 小学生4名 ・メンタルクリニック通院児童 : 小学生3名、中学生1名
学 校	赤羽根小学校	懇談会(年3回) 1回:赤羽根学園(各児童の様子についてまとめた資料を提出) 2回:赤羽根小学校 全職員(園長、直接処遇)が参加し、各担任と児童について話をする。
	赤羽根中学校	連絡会(年6回) 赤羽根中学校 園長、指導員が中学校へ行き、各担任・部活顧問と児童について話をする。
	各高校・支援学校	各学校の懇談会及び部活懇談会に出席し、児童について話をする。

5 特記事項

・新型コロナウイルス感染症関係

		実 際 の 取 り 組 み
感 染 対 策	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・就寝時以外マスク着用と黙食を徹底 ・食事前の消毒、帰園後の手洗い・うがい、夕食後の検温は今まで通り行っている
	職 員	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は昨年同様広い部屋(食堂)で、換気をしながら行っている ・出勤時の検温、マスク着用で勤務 ・定期的に施設内の消毒
	来 客	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、検温、来客者名簿の記入 (日時・連絡先・家族を含む体調・陽性者との濃厚接触及び渡航等のチェックあり)
	面 会 一時帰省	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り公共交通機関を利用しない方法での来園を依頼 ・緊急事態宣言・まんえん防止等重点措置発令時については、基本的に延期してもら ・児童相談センターから依頼があった場合、リモートでの面会にも対応
陽 性 者	R4年11月	児童 4 名 職員 3 名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 陽性者は退所児童支援施設、浴室棟にて生活
	R4年12月	児童 4 名 職員 1 名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事は紙コップ・紙皿・割りばし等を使用(使い捨て) ・ 検温(1日 7~10回)、体調・食量等の確認
	R5年 1月	児童 5 名 職員 3 名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日 1回 保健所担当者からの体調確認あり
		合計 児童 13名 職員 7名 ※ 児童家庭課より「クラスター」と認定された
濃 厚 児 接 童 触 の が 対 疑 応 わ れ る		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調不良または微熱の時点で隔離 ・ 同室児童に発熱があった時点で隔離または行動範囲を規制し常に消毒 ・ 職員は食事提供する時等、アインレーションガウン(使い捨て用)・使い捨て手袋・フェイスシールド・マスクを着用 ・ 食事は紙コップ・紙皿・割りばし等を使用し、各部屋のごみ袋へ捨てる ・ 入浴・洗顔等は他児がいない時間で、使用後は消毒を徹底 ・ トイレは他児と区別し、使用後は消毒を徹底

令和4年度 事業報告



光輝保育園

令和4年度 事業実績報告

施設名 光輝保育園

定員 (90人)

I. 月別入所(利用)人員及び職員数 (初日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所(利用)人員	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	89
3歳未満児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24
3歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
4歳以上児	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
(時間外保育利用者数/ 早朝・土曜のみ含む) <再掲>	68	70	73	70	70	70	71	71	73	73	73	73
園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
主任保育士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副主任保育士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士(再雇用再掲)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)
臨時保育士	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
パート保育士	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
調理員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パート調理員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
延長保育対応職員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
臨時栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
パート補助(用務員)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
土曜保育補助アルバイト	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
(職員数 計)	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30	31	31
嘱 託 医	内・外科医 1 / 歯科医 1 (年2回の健診を実施)											

II. 職員の異動

- | | | | |
|--------------|----------|-------|-----------------------|
| 1) 採用 | 4Hパート保育士 | 二村 広美 | 令和4年 4月 1日採用 |
| | 保育士 | 古賀 夕葵 | 令和5年 4月 1日採用 |
| | 保育士 | 太田 夢菜 | 令和5年 4月 1日採用 |
| | 4H保育補助 | 寺村 眞琴 | 令和5年 1月28日採用 |
| 2) 退職 | 保育士 | 佐野 育枝 | 令和4年 9月30日退職 (一身上の都合) |
| | 臨時保育士 | 河内 麻紀 | 令和5年 3月31日退職 (一身上の都合) |
| 3) 職種等変更 | な | し | |
| 4) 法人内異動(転入) | な | し | |
| (転出) | な | し | |

Ⅲ. 特別保育事業実績

時間外保育実績

	土曜保育 利用	7:30～ 8:00	16:00～ 18:00	18:00～ 19:00	19:00～ 19:30	計 ※1 (16:00～19:30)
4月	33	33	37	26	2	65
5月	33	33	37	26	2	65
6月	33	33	37	26	2	65
7月	33	33	37	26	2	65
8月	33	33	37	26	2	65
9月	33	33	37	26	2	65
10月	34	34	36	28	2	66
11月	34	34	35	28	2	65
12月	34	34	37	28	2	67
1月	32	34	40	28	2	70
2月	33	34	40	29	2	71
3月	32	33	40	27	2	69
計	397	401	450	324	24	798

※1 月別利用者数計に早朝・土曜保育のみ利用者は含まず。

一時保育実績

	利用人数	延人数
4月	12	44
5月	14	69
6月	17	87
7月	17	57
8月	1	5
9月	14	58
10月	13	46
11月	13	35
12月	13	33
1月	12	46
2月	14	58
3月	15	47
月平均	13	49
延合計		585

Ⅳ. 特記事項

- 令和4年度においても新型コロナウイルス感染拡大が続き、親子バス遠足など密になることの多い行事は取りやめとなった。入園進級式・運動会・卒園式はどは引き続き入場制限・入場者事前登録制による開催となった。令和2年度に策定した光輝保育園「5段階警戒レベル」は、令和4年2月に見直して運用していたが、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが「5類感染症」へ変更になることにともない運用を停止。保護者向けに当園の関係者の新型コロナウイルスに関する感染状況をお知らせする情報提供の掲示及び一斉メール配信も停止し、従来の緊急配信のみとした。3歳以上児及び職員の健康観察表の実施も停止した。感染拡大第8波の際には、職員・園児及びその家族に複数の感染者が確認され、令和4年12月13日～16日の4日間の「休園措置」を行い、全館消毒作業を職員のみで実施。この間の園児・職員の給食負担金等は減額を行った。
- 豊川市民間保育所整備費補助金 7,696,000円の交付をうけ、園舎屋根・外壁・ベランダの防水塗装修繕工事を実施(総事業費10,450,000円)し、園舎の保全に務めた。現在の政界情勢の為、物価高騰の煽りを受け、予算の都合で園舎正面玄関の1階壁面及び軒テントの張替えは実施せず、次の機会とした。
- 園舎ホールの天井の蛍光管の取替えを実施するにあたり、蛍光管の生産が終了し入手困難と判明。照明機器ごと交換し、全面LED化する工事を実施(総事業費1,320,000円)。

V. 主な実施行事

区分	主 な 行 事	備 考
4月	進級をお祝いする会(2日) 入園をお祝いする会(4日) } 2部に分けて開催 新入園児の出会いの保育(4～11日) 0、1、2、3、4歳児お昼寝開始	<ul style="list-style-type: none"> 毎月一回行う本堂集会は、新型コロナウイルスの影響で実施を見送った。 身体測定・避難訓練、交通安全指導を月一回行う。 誕生会は、1月が休園となったため延期。2月に1・2月分を実施した。本来は月一回行う。 半日保育士体験。 保護者に半日、保育士の仕事を体験してもらい保育園での生活と成長を見て保育園への理解をより深めてもらうことを目的とする。例年は、さつき・ふじ組の保護者に6月ごろから参加していただくが、今年度もさつき組の保護者のみに限定して実施。 クラス懇談会、個人懇談会を各クラス単位で実施
5月	歯科健診(12日)・内科健診(12日) 花まつり集会(13日) 春の遠足(18日) <目的地を近隣にして実施> さつき組おいでん祭参加 <開催中止>	
6月	サツマイモ苗植え(2日) 歯みがき集会(9日) ⇒クラス毎の指導に変更 プール開き(2日)	<ul style="list-style-type: none"> 保育園ミニ体験(6～10月・毎月第1火曜日) コロナ禍のため、1日6組程度限定で実施
7月	5歳児お昼寝開始 七夕まつり集会(7日) 地震体験車「なまず号」体験(14日) 年長児(さつき組)お泊り保育 <延期>	
8月	お盆期間中・希望登園日(12～17日)	
9月	年長児(さつき組)お泊り保育(9～10日) <⇒新型コロナ感染者複数名の発生があり、1週間延期して実施> 5歳児お昼寝終了	
10月	・内科健診(6日)・歯科健診(20日) 運動会(15日) ⇒入場制限あり・0・1歳未満児は不参加 サツマイモ掘り(24日) プラネタリウム鑑賞招待(1日) さつき組・親子竹馬作り(29日)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の親子バス遠足は感染予防のため、中止。 園児ぎょう虫検査
11月	秋の遠足 <親子バス遠足の代替行事>(2日) やきいも(18日)	<ul style="list-style-type: none"> 園舎屋根外壁防水塗装改修工事 (10/31～12/28日)
12月	成道会集会(8日) ふじ・たんぼぼ組クラス発表会(17日) <延期> たいようの会(卒園児来園・交流会)(23日) ⇒入館・飲食なし ※12月のお誕生会 <延期> 年末年始休園(12/29～1/3)	<ul style="list-style-type: none"> クラス懇談会、個人懇談会を各クラス単位で実施 新型コロナウイルス感染者多数のため臨時休園 (12月13日～12月16日) 大掃除
1月	さつき組・キッズサッカー教室(10日) ふじ・たんぼぼ組クラス発表会(21日) ⇒入場制限あり ※12月&1月のお誕生会 ちゅうりっぷ組クラス発表会(28日) ⇒入場制限あり	
2月	節分・菓子まき(3日) もも組親子ふれあい遊び(4日) ⇒入場制限あり 涅槃会集会 避難訓練・消防車来園・記念写真撮影(16日) 人形劇観劇(ひまわり会企画行事) <園児・職員のみ参加> ひかり保育園とのドッチボール交流戦 <中止>	<ul style="list-style-type: none"> 園児尿検査
3月	お別れ遠足(8日) 卒園をお祝いする会(25日) ⇒入場制限あり 年度末・希望登園日(27日～31日)	

令和4年度 事業実績報告

小規模保育事業所 おひさまキラリ

令和4年度 事業実績報告 おひさまキラリ

1. 月別入所（利用）児童数 定員（12名）

期間	保育必要量	保育実施児童人員			合計
		1・2歳児	乳児	小計	
4月	標準	6	0	6	13
	短	5	2	7	
5月	標準	6	0	6	13
	短	5	2	7	
6月	標準	6	0	6	13
	短	5	2	7	
7月	標準	6	0	6	12
	短	4	2	6	
8月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
9月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
10月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
11月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
12月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
1月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
2月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
3月	標準	7	0	7	13
	短	4	2	6	
計	標準	80	0	80	155
	短	51	24	75	
合計		131	24	155	155

保育必要量区分

保育標準時間：週30時間以上かつ月120時間以上の就労など（主にフルタイムの就労等を想定）

保育短時間：月60時間以上の就労など（主にパートタイムの就労等を想定）

2. 職員構成

職名	人員	備考
園長	1	
主任保育士	1	
保育士	1	
臨時保育士	2	
4Hパート保育士	3	
調理員	1	
嘱託医	2	
合計	11	

【異動等】

< 退職 1名 >

伊藤玲緒奈（保育士） R5/3/31退職
（旧姓 山本）

< 採用 1名 >

佐藤ロハイネ（保育士） R5/4/1採用

		実際の取り組み・成果 等
児 童	入所・退所状況	<p>令和4年度は0歳児 2名。1歳児 5名。 2歳児 6名。の13名でスタートした。しかし、2歳児の1名は出産要件で入所した為6月末で退所となる。全体で12名の時期は僅か1ヶ月だけで8月に2歳児1名が入所し再び13名となる。令和4年度は、その後入所児の入れ替わりは無く落ち着いた年であった。2歳児の6名は、3月末に退所し光輝保育園へ入所となった。</p> <p>(1. 月別入所(利用)児童数表参照)</p>
	保育活動	<p>令和4年度も保育現場は引き続きコロナ禍で保育活動を行っていったが、どことなくコロナ慣れしてきた感もあり、給食の場面等でもマスクをしたままでも上手に園児の口へ運び「おいしいね。うまうまだね。」と会話を楽しみながらの光景も見られた。また、遊びの環境では、手作り玩具をたくさん用意し取り合いにならないよう配慮したり、舐め回して洗濯や消毒をし数が減っても十分に足りるようにした。しかし、人形やブロックといった玩具はどうしても数に限りがあり、子ども同士のトラブルも日常茶飯事ではあったが、これも成長の一つと捉えその子の気持ちに寄り添う丁寧な保育を心がけた。</p> <p>特に令和4年度は、同じ保育業界で不適切な保育を行っていたと新聞紙上を賑わし毎日のように保育園・幼稚園が取り上げられた年でもあった。そこで、当園では今一度足元から見直し、鼻水を拭くにもおむつを替えるにも保育士が勝手に替えるのではなく「お鼻拭いてもいい?」「おむつ替えてもいい?」と一言声を掛け、子どもを主体に小規模保育所ならではの、きめ細やかな保育を行った。</p> <p>この他には、例年通り夏野菜やキャベツ・さつま芋といった野菜を2歳児を中心に苗植えから収穫までを楽しみ、更に収穫した野菜でクッキングも楽しんだ。また、収穫した野菜をお土産として持ち帰らせ保護者の方にも喜んで頂けた。</p> <p>残念なことに令和4年度も新型コロナウイルスが園内に蔓延し一週間休園することになったが、昨年同様、誰一人苦情めいた事は聞かれなかった。</p>
	保護者支援	<p>今年度も6月から12月の第一火曜日に園舎ホールを開放し、保育園ミニ体験を開催した。しかし、コロナ禍にあって令和4年度も利用者は少なかった。</p> <p>そんな中でも、見学に来られたお母さんが職場の方が「ここがいいよ」と薦めて下さったから見学に来た。という方からホームページを見て子ども達が楽しそうに遊んでる姿やその日の給食を紹介しているページを見て興味をそそられて来た。という方も見えて少しずつおひさまキラリの認知度が広がってきたように感じた。</p> <p>保護者支援というよりもこちらの方が元気をもらえる言葉を頂いた。</p>
職 員	職員配置	<p>令和4年度は、職員の入れ替り異動は無かったので、スムーズなスタートができた。しかし、新入園児の1歳児に神経質な子が多く、午睡時になかなか寝付けず大泣きし寝付いた子までも起こしてしまうため個別対応した。この時も気心知れた職員同士が話し合い、休憩をとる職員、個別対応する職員と上手に調整しあい一人ひとりに向き合う保育に心がけてくれた。</p>
	職員研修	<p>昨今は、新型コロナの影響でWeb研修が主流となり、今年度も愛知こどものとも社が主催するオンライン園内研修を受講し職員の自己研鑽につなげた。今回は、2年前に受講した保育業界では第一人者である汐見稔幸先生の「エデュケーレを読み解きながら、現場の悩みの解決と保育の質の向上の方策を探る」を演題に受講した。エデュケーレとは、汐見先生が編集長となっている「現場の声」中心主義の保育雑誌で、中でも5月号の「ジェンダーにとらわれない保育って」が考えさせられる内容であった。</p>